

学校法人 兵庫医科大学
平成 29 年度 事業報告

平成 29 年度は、本法人にとって記念すべき年となりました。学校法人兵庫医科大学中医学孔子学院が開設 5 周年、兵庫医療大学が開学 10 周年、兵庫医科大学ささやま医療センターが開院 20 周年という節目を迎え、それぞれ 6 月 15 日（木）、9 月 30 日（土）、10 月 14 日（土）に記念事業が行われました。（因みに、兵庫医科大学は開学 45 年を迎えました。）

また、永年の念願であった教育及び研究環境を整備するため、教育・研究機能を集約した教育研究棟が完成し、3 月 10 日（土）、11 日（日）に、竣工式及び内覧会等が行われました。

その他、平成 29 年度は、2 月 10 日（土）～11 日（日）に行われた第 112 回医師国家試験の合格率において、本学は国公立（80 大学）を含めて、全国第 3 位の成績を収めました。また、世界大学ランキング日本版 2018（教育リソース分野）においても、本学は全国で第 7 位、私立大学では全国第 1 位となり、教育分野において、素晴らしい成果のあった年となりました。

平成 29 年度事業は、平成 25 年度からスタートした第 2 次中期事業計画 “～連携と進化～” が平成 29 年度をもって終了し、平成 30 年 3 月 23 日（金）開催の理事会において、平成 30 年度から 5 年間の第 3 次中期事業計画 “未来への挑戦 ～新たなステージへ～” が決定し、これがスタートします。内容的には、兵庫医科大学開学 50 周年記念事業に向けて、また本法人最大のプロジェクトである新病院建設のための態勢整備を具体化するなど、24 の戦略を掲げ、これの実現を目指す大変重要な 5 年間となります。

以上のことを踏まえ、本法人のさらなる発展に向けて、計画された事業内容が着実に実行できるよう、これまで以上に明確な目的意識、具体的な方策をもって事業を展開することが求められますので、本法人の “未来への挑戦” に、教職員一同、一丸となって果敢に取り組んでいきたいものです。

最後に本法人の事業活動に伴う財務状況について、平成 29 年度決算は、基本金組入前収支差額（旧帰属収支差額）が、2,745 百万円の黒字となり、年度の収支差額の下限目標額である 20 億円以上の黒字を確保することができました。今後とも、第 3 次中期事業計画の一つである財務計画を着実に実行し、新病院建設のための財務基盤の強固な確立に向けて、アクティブに事業活動が展開できればと存じます。

平成 30 年 7 月 13
学校法人兵庫医科大学

I. 法人の概要

1. 沿革（平成 27 年度～29 年度の 3 年間を抜粋）

平成 27 年	4 月	兵庫医科大学 健康医学クリニック完成
	4 月	兵庫医療大学 社学連携推進機構設置
	12 月	兵庫医科大学・兵庫医療大学 北京中医薬大学との学術交流に関する協定を締結
平成 28 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）の認定
	12 月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
平成 29 年	11 月	教育研究棟 竣工
平成 30 年	2 月	兵庫医科大学病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3 月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定

2. 設置する学校・学部・学科等（平成 29 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	平成 29 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長：野口光一) 昭和 47 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	43	240	203
	医学部 医学科	112	112	668	709
兵庫医療大学 (学長：馬場明道) 平成 19 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	1	12	10
	大学院 看護学研究科	8	4	16	15
	大学院 医療科学研究科	8	9	16	17
	薬学部 医療薬学科	150	182	900	927
	看護学部 看護学科	100	123	400	443
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	48	160	182
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	43	160	177

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス 兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号（〒663－8501）
兵庫医科大学 医学部 医学科
大学院 医学研究科
兵庫医科大学病院

篠山キャンパス 兵庫県篠山市黒岡 5 番地（〒669－2321）
兵庫医科大学 ささやま医療センター
兵庫県篠山市黒岡 36 番地（〒669－2321）
兵庫医科大学 ささやま老人保健施設
ささやま居宅サービスセンター

神戸キャンパス 兵庫県神戸市中央区港島 1 丁目 3 番 6（〒650－8530）
兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科
看護学部 看護学科
リハビリテーション学部 理学療法学科
作業療法学科
大学院 薬学研究科
大学院 看護学研究科
大学院 医療科学研究科

4. 役員・評議員・教職員の概要

(1) 役 員 （平成 30 年 3 月 31 日現在）

理 事【定員 17～19 名・現員 19 名】（常勤 13 名、非常勤 6 名）

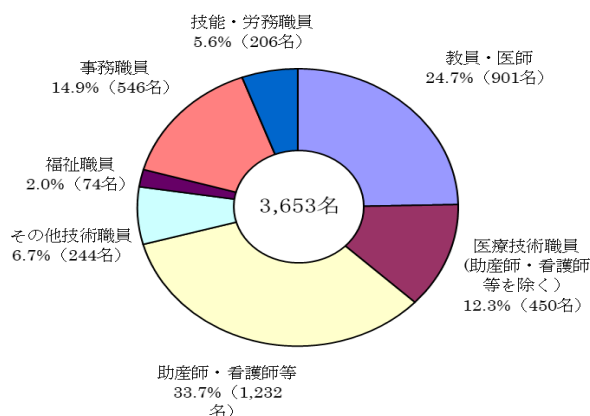
監 事【定員 2～3 名・現員 2 名】（常勤 1 名、非常勤 1 名）

(2) 評議員 （平成 30 年 3 月 31 日現在）

【定員 38～42 名・現員 40 名】

5. 教職員数（職種別：平成 30 年 3 月 31 日現在）

職種別職員構成比(平成30年3月31日現在)



II. 事業の概要

《法 人》

○ 補助金

平成 29 年度 私立大学等経常費補助金について、下表のと通りの概算交付があった。

(金額単位：千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				平成 28 年度	平成 27 年度
兵庫医科大学	1,312,941	146,121	1,459,062	1,563,201	1,660,175
兵庫医療大学	411,290	105,487	516,777	485,299	469,750
合計	1,724,231	251,608	1,975,839	2,048,500	2,129,925

○ 改正労働契約法の対応

平成 25 年度に労働契約法が改正され、平成 30 年度 4 月以降、有期契約労働者について、平成 25 年度から 5 年を超える契約を行った場合、労働者からの希望があれば無期に転換させる必要がある。本法人としては、有期契約雇用職員の内、嘱託職員については、平成 27 年 9 月に「学校法人兵庫医科大学無期契約雇用職員就業規則」を、また、非常勤職員については平成 28 年 10 月に「学校法人兵庫医科大学無期契約雇用非常勤職員就業規則」を制定し、各々の有期契約雇用職員の内、優秀で本人が希望する場合は職種を限定し無期契約雇用職員として採用できることとした。また、一定の年限以前に採用された有期契約雇用職員については、本人の希望(又は自動的に)により平成 30 年 4 月から無期契約雇用職員として転換できるようにした。

平成 29 年度は、関係就業規則の取扱要領で定められた職種以外で一定の年限以前に採用された有期契約雇用職員(実験補助等)に関しては、本人の希望があれば無期転換を行う必要があるため、そのための周知や申込書の作成等により無期転換を行うための手続きを進めた。

○ 第3次中期事業計画及び年次事業計画の策定

- ・第3次中期事業計画（2018年度～2022年度）を策定した。

経営常務会及び部門ごとに組織された5つの部会により、「建学の精神」「目指す姿」を実現するため、それぞれの実情に応じた「基本コンセプト」の下、「戦略」及び具体的な「施策」を策定した。また、教職員への周知のためパンフレットを作成し、全教職員を対象とした3キャンパスでの説明会を実施した。

- ・第3次中期事業計画に基づき、2018年度事業計画を策定した。

○ 第2次中期事業計画及び年次事業計画の進捗管理

- ・第2次中期事業計画及び2017年度事業計画の進捗状況について、上半期末及び年度末に各部門とヒアリングによる確認を行い、その結果を理事会に報告した。

○ 中長期収支・財務シミュレーションの策定

- ・2025年度の新病院棟竣工を目標に、今後の収支状況の推移を予測し、将来計画を実現可能なものとするため、10年間の収支・財務シミュレーションを策定した。同シミュレーションに基づき財務基盤安定のための課題を解決していくことになった。

○ 収支・財務シミュレーションに基づく適正予算の編成

- ・9月に策定した10年間の収支・財務シミュレーションに基づき、2018年度の目標収支差額を予算編成のガイドラインとして定め、予算編成を実施した。

○ 広報関係

1) 報道機関への積極的情報発信とパブリシティの獲得

- ・兵庫医科大学および兵庫医療大学の教育・研究、並びに兵庫医科大学病院の診療に関して広く世の中にご理解をいただくため、報道機関に対して定期的なニュースリリース・ニュースレターの配信を行った（平成29年度実績計47本 ※月平均3.9本、前年度比94%）。

- ・阪神・神戸・丹波・篠山地域の報道機関への定期訪問をはじめ、マスメディア懇談会（平成29年4月実施）や兵庫医科大学 教育研究棟内覧会（平成30年3月実施）などを開催し、メディア関係者とのコミュニケーション強化に努めた。また、記者や番組ディレクター向けに、過去3年間のメディア掲載実績をジャンル別にまとめた冊子を新たに制作・配布し、記事の執筆や番組企画時の参考にしていただけるように努めた。結果、年間の取材問い合わせ件数は過去最高となる192件（※前年度比101.1%）を記録。取材依頼に対してスピーディーに対応した結果、平成29年度も多数のパブリシティを獲得することに成功した。

2) 他企業とのアライアンスによる地域貢献活動およびPR

- ・平成26年度からスタートした阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区）との地域貢献アライアンス施策として、平成29年度も以下のような沿線住民の健康増進に資する取り組みを継続して実施した。

◇阪神電鉄が発行する沿線情報誌「ホッと！HANSHIN」（月刊）をはじめ、HANSHIN 女性応援 Web サイト「Cheer＊full Cafe」、阪急阪神ホールディングス情報媒体「WellTOKK」「Wellness プラス」などの中で医療に関する記事制作に協力し、地域住民の皆様へのわかりやすい医療情報の提供に努めた。

◇阪急阪神ホールディングスグループである㈱エキ・リテール・サービス阪急阪神と連携し、同社のジューススタンド「ジュースデリ マメカ」において、当院の管理栄養士が監修した「ベジフル サラダスモージー」を西宮市内 2 カ所にて販売し、地域住民の健康促進を支援するとともに、当院の知名度向上に努めた。

◇前年度に続き、平成 29 年 8 月 25 日（金）から 27 日（日）の 3 日間、学校法人兵庫医科大学（兵庫医科大学病院・兵庫医療大学）として、阪神電鉄や神戸大学と一緒に医療体験イベント「HANSHIN 健康メッセ」を開催し、小・中・高生を中心とした計 1 万 3000 人以上の来場者に医療体験の提供を行うことで、子どもたちの夢を育む地域貢献活動に貢献するとともに、法人全体の PR を行った。

○ 兵庫医科大学開学 40 周年記念 教育研究棟建設事業募金

平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで募集を行い、寄付実績は次のとおりであった。ご寄付を賜った方々のご芳名は、寄付者芳名板として教育研究棟 2 階に掲げるとともに、ご協力いただいた皆様方への報告として、開学 40 周年記念事業 教育研究棟事業報告書を作成し配布を行った。

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
201	1,299,315,000	579	414,989,793	780	1,714,304,793

○ 男女共同参画推進事業

1. 兵庫県女性活躍のための講師派遣事業の一環として、メディカルスタッフおよび事務職員の管理職者を対象にセミナーを実施し、32 名の教職員が参加した。働き方改革に伴うマネジメントの方法について具体的に学ぶことができた。またグループワークでは職種や役職を越えたディスカッションを行うことができた。

日時：平成 30 年 2 月 7 日（水）15：00～17：00 場所：9-3 講義室

講師：田井 久恵 氏（TAI 働き方研究所）

テーマ：ダイバーシティマネジメント研修～なぜ今「働き方改革」が必要なのか～

2. 男女共同参画推進室 育児支援ワーキンググループにおいて、教職員向けの育児支援冊子を発行し、産休・育休に入る教職員などに配布した。復職や、家庭と仕事の両立に役立てることができ、離職防止や優秀な人材の確保に繋がることが期待できる。また、

教職員を対象とした「ママさんパパさん交流会」では、新たに本学の小児科医師による育児講座（20 分）を実施した。

○ イノベーション活動「プロジェクト “結い”」

平成 28 年 12 月より、7 年先の新病院棟建設の実現に向け、本法人の職員に対してイノベーション活動への動機づけ、意識づけを行うとともに、業務の合理化等を推進するために、学内調整連絡会が発起人となり、組織横断的な体制でもって活動を展開するべく、イノベーション活動チームを設置した。第 1 期イノベーション活動チームはコメディカルスタッフ、事務局職員の 62 名 8 チームで構成された。各チームは、業務の合理化、効率化、サービスの提供等を目的に、テーマを選定し活動した。

チーム名	テーマ
A	6S 活動（細かい無駄を省こう！）
B	法人内のリサイクル活動の推進
C	みんなで超勤削減に取り組もう
D	平成記念会館の有効活用
E	・ 物品・医療資源のコスト削減 ・ 部署間・職種間の繋がり強化
F	“萌えの会”の広報について
G	大きな無駄（ロス）を無くす為に！
H	・ ペーパータオル削減 ・ 病院マスコットイラスト決定

■活動報告会

- ・ 中間報告会（平成 29 年 4 月 25 日）
- ・ プロジェクト “結い” 発表会（平成 29 年 6 月 28 日）
- ・ プロジェクト “結い” 最終報告会（平成 29 年 12 月 11 日）

■イノベーション活動から兵庫医科大学病院のマスコットイラストが誕生！



兵庫医科大学病院のマスコットイラスト
むこぺん（武庫川のペンギンの意）

ペンギンが集団で協力し合う姿は、チーム医療を目指す兵庫医科大学病院と同じです。左肩の 4 つのハートは各職種の“愛”を意図し、4 つのハートがクローバーとなって“幸せ”を運ぶという想いを込めています。

《兵庫医科大学》

○ 補助金

(1)平成 29 年度科学研究費助成事業

(単位：円)

研究種目名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
基盤研究 (B)		11	46,000,000	13,800,000	59,800,000
基盤研究 (C)		93	106,700,000	32,010,000	138,710,000
挑戦的萌芽研究		10	14,500,000	4,350,000	18,850,000
若手研究 (A)		2	13,800,000	4,140,000	17,940,000
若手研究 (B)		24	26,600,000	7,980,000	34,580,000
奨励研究		8	4,430,000	0	4,430,000
計		148	212,030,000	62,280,000	274,310,000
(参考)	平成 28 年度合計	142			262,368,212
	平成 27 年度合計	144			249,857,488

(2)平成 29 年度厚生労働科学研究費

(単位：円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業		1	10,385,000	3,115,000	13,500,000
難治性疾患等政策研究事業		1	11,500,000	3,450,000	14,950,000
計		2	21,885,000	6,565,000	28,450,000
(参考)	平成 28 年度合計	3			25,620,000
	平成 27 年度合計	2			4,090,000

(3)平成 29 年度日本医療研究開発機構（AMED）研究費

(単位：円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
再生医療実現拠点ネットワークプログラム 幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム		1	10,000,000	3,000,000	13,000,000
interstellar initiative		1	4,500,000	450,000	4,950,000
橋渡し研究戦略的推進プログラム		1	85,983,077	25,794,923	111,778,000
中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業		1	2,500,000	750,000	3,250,000
計		4	102,983,077	29,994,923	132,978,000
(参考)	平成 28 年度合計	4			57,129,200
	平成 27 年度合計	3			24,987,000

(4)平成 29 年度エコチル調査委託事業精算金（環境省）

(単位：円)

環境省委託事業名		件数			総交付額
			直接経費	一般管理費	
エコチル調査		1	82,178,392	10,075,264	92,253,656
(参考)	平成 28 年度合計	1	77,908,365	11,544,467	89,452,832
	平成 27 年度合計	1	76,153,412	11,216,936	87,370,348

(5)平成 29 年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン補助金分配金（文部科学省）

(単位：円)

研究事業名		件数			本学分配額
			各部署配分額	事務経費	
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン		1	5,300,000	1,700,000	7,000,000
(参考)	平成 28 年度合計	1	4,880,000	1,649,000	6,529,000
	平成 27 年度合計	1	5,421,000	1,767,000	7,188,000

○ 医師国家試験

第 112 回医師国家試験

イ. 試 験 日 : 平成 30 年 2 月 10 日 (土) ・ 11 日 (日)

ロ. 合格発表日 : 平成 30 年 3 月 19 日 (月)

(1) 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		107	104	97.2%	11	11	100%	118	115	97.5%
(参考)	平成 28 年度	98	87	88.8%	5	5	100%	103	92	89.3%
	平成 27 年度	103	98	95.1%	2	2	100%	105	100	95.2%

(2) 全国の状況 (合格率)

新卒・既卒別 私立・全国別		新 卒	既 卒	計
私立 平 均		92.8%	72.2%	90.2%
全 国 平 均		93.3%	63.9%	90.1%

○ 平成 30 年度医学部入学試験

2018 年度(平成 30 年度)の入学定員は、2009 年度の「緊急医師確保対策」による臨時定員増が期限をむかえ、本来 110 名となるところを再度の定員増の認可申請を文部科学省に行い、その結果、定員は 112 名となった。一般公募制推薦入試、地域指定制推薦入試、特別選抜推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期)及び大学入試センター試験利用入試(後期)を実施した。

1) 推薦入学試験

区分	一般公募	地域指定	特別選抜
出願者	45 名	40 名	2 名
合格者	12 名	5 名	2 名

2) 一般入学試験

区 分	人 数
出 願 者	2,136 名
第 1 次試験合格者	436 名
第 2 次試験合格者(正規)	110 名
補 欠 者	248 名

3) 大学入試センター試験利用入学試験（前期）

区 分	人 数
出 願 者	735 名
第 1 次試験合格者	241 名
第 2 次試験合格者（正規）	19 名
補 欠 者	55 名

4) 大学入試センター試験利用入学試験（後期）

区 分	人 数
出 願 者	33 名
第 1 次試験合格者	20 名
第 2 次試験合格者（正規）	3 名
補 欠 者	6 名

5) 入学者

区 分		人 数
入 学 者	一般公募制推薦入試	12 名
	地域指定制推薦入試	5 名
	特別選抜推薦入試	2 名
	一般入試	81 名
	センター試験利用入試（前期）	9 名
	センター試験利用入試（後期）	3 名
	合 計	112 名

○ 平成 30 年度大学院入学試験

入学試験は、前期募集については平成 29 年 9 月 12 日（火）に、後期募集については平成 30 年 2 月 9 日（金）に、外国語試験及び口述試験（面接）が実施され、合格者の発表は平成 29 年 10 月 6 日（金）及び平成 30 年 2 月 23 日（金）に行われた。

前期募集

区分	人 数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	13	7	2	3	0	0	0	0	1
受験者	13	7	2	3	0	0	0	0	1
合格者	13	7	2	3	0	0	0	0	1
入学者	13	7	2	3	0	0	0	0	1

後期募集

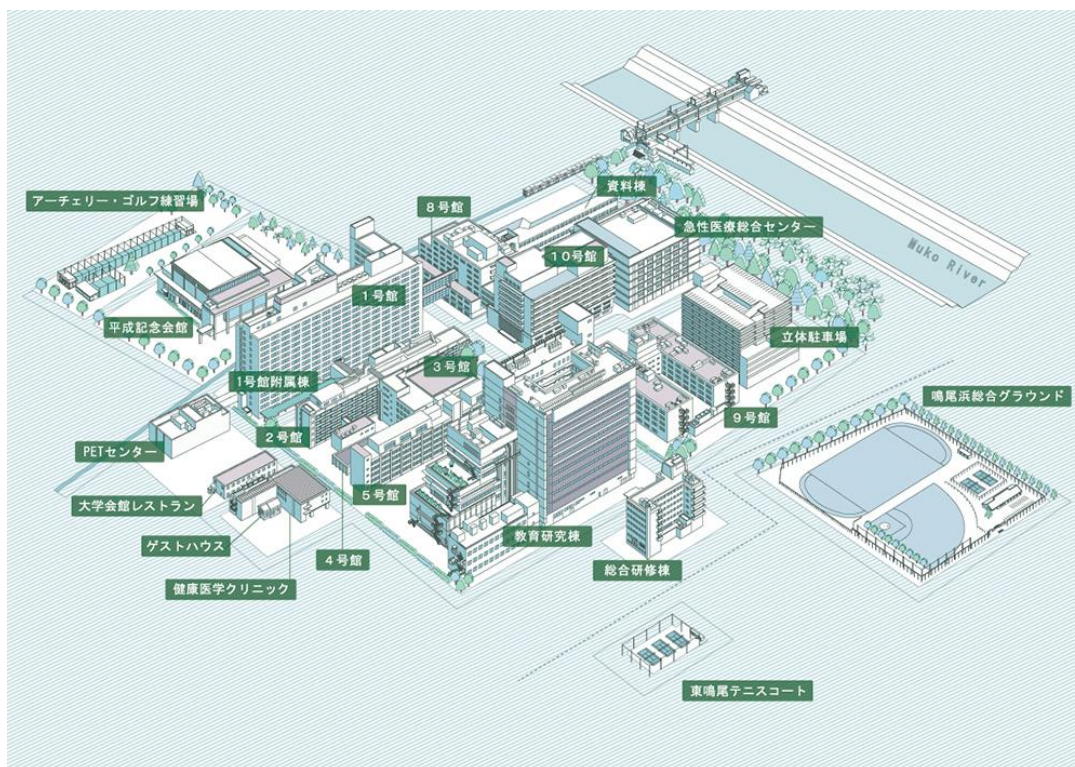
区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	36	16	7	5	1	4	1	0	2
受験者	36	16	7	5	1	4	1	0	2
合格者	36	16	7	5	1	4	1	0	2
入学者	35	16	7	4	1	4	1	0	2

○ 大学認証評価受審

前回の認証評価から 2016 年度までの過去 7 年間について自己点検・評価した結果を公益財団法人大学基準協会に提出し、書面調査、実地調査を経て、大学基準に適合していると認定された。認定の期間は 2018 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の 7 年間。

○ 教育研究棟完成

より良い学習環境、より高いレベルの研究環境を整備するため、従来、複数の建物に分かれていた教育・研究機能を集約した教育研究棟が、平成 29 年 11 月 15 日に竣工した。本棟では学生の能動的な学習を促す「ラーニングスクエア」の設置、学生の自習スペースの拡張、学生食堂の新設などを行い、2018 年 4 月から本格利用する。



《兵庫医科大学病院》

○ 患者数

			対前年度
入院患者数	延患者数（在院＋退院）	307,335 人	99.8%
	1 日平均	842 人	99.8%
	平均在院日数（一般）	11.4 日	△0.3 日
	平均在院日数（全体）	11.8 日	△0.4 日
外来患者数	延患者数	657,914 人	100.7%
	1 日平均	2,426.0 人	100.3%

○ 主な補助金等

- ・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（医科） 36,230,000 円
- ・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（歯科） 2,951,000 円
- ・ 医療関係者研修費等補助金（看護師特定行為） 2,542,000 円
- ・ 文部科学省大学改革推進等補助金
 - ・ 未来医療研究人材養成拠点形成事業 17,291,000 円
 - ・ 課題解決型高度医療人材養成プログラム共同事業 5,318,903 円
- ・ 救命救急センター運営補助金 62,736,000 円
- ・ 周産期母子医療センター運営費補助金 2,166,000 円
- ・ 産科医等育成・確保支援事業補助金 344,000 円
- ・ 防災訓練等参加支援事業補助金 2,000 円
- ・ 臓器移植コーディネーター委託費 5,354,000 円
- ・ 兵庫県リハビリテーション支援センター運営委託費 1,477,000 円
- ・ 肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金 2,646,000 円
- ・ がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金 8,000,000 円
- ・ エイズ中核拠点病院業務委託費 178,000 円
- ・ エイズ診療従事者等研修委託費 114,000 円
- ・ 兵庫県認知症疾患医療センター運営委託費 3,620,000 円
- ・ 認知症地域医療連携体制強化事業補助金 3,464,000 円
- ・ HIV 感染者等保健福祉相談事業委託費 750,000 円

合 計 155,183,903 円

（平成 27 年度合計） 218,663,460 円

（平成 28 年度合計） 196,738,093 円

○ 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院の指定

兵庫県より、平成 30 年 2 月 1 日付でアレルギー疾患対策の充実・強化を進める一環として、アレルギー疾患医療拠点病院に指定された。

《ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンター》

○ 患者数

1) ささやま医療センター

入院患者数	53,597 人	(延数)
〃 一日平均	146.8 人	
外来患者数	73,730 人	(延数)
〃 一日平均	302.2 人	

2) ささやま老人保健施設

入 所	30,701 人	(延数)
〃 一日平均	84.1 人	
短期入所	4,356 人	(延数)
〃 一日平均	11.9 人	
通 所	10,978 人	(延数)
通所リハビリ 一日平均	35.4 人	
予防通所	3,015 人	(延数)
〃 一日平均	12.4 人	

3) ささやま居宅サービスセンター

居宅介護支援	1,541 人	(要介護)
訪問看護	489 人	(要介護)
訪問介護	84 人	(介護保険)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	81 人	(介護保険)

○ 主な補助金等

(単位：円)

項目	27 年度	28 年度	29 年度
新人看護職員卒後臨床研修事業補助金	530,000 円	205,000 円	219,000 円
ささやま医療センター施設整備費等補助金	90,000,000 円	90,000,000 円	90,000,000 円
篠山市救急医療対策事業補助金	48,317,000 円	48,900,000 円	49,637,000 円
病院内保育所運営事業	2,124,000 円	2,124,000 円	2,263,000 円
へき地医療拠点病院運営費事業補助金	2,213,000 円	1,867,000 円	1,765,000 円
丹波医療圏病院群輪番制補助金	5,930,350 円	5,930,350 円	5,858,900 円
丹波医療圏小児救急輪番制補助金	4,707,516 円	5,082,978 円	2,574,426 円
小児救急医療拠点病院設備整備事業補助金	—	8,436,000 円	—
ひょうご保育料軽減事業補助金	—	—	122,000 円
★地域介護拠点整備費補助金	10,300,000 円	—	
★在宅復帰支援機能強化事業	725,000 円	—	

☆地域サポート型施設等定期巡回サービス参入促進モデル事業	—	3,000,000 円	2,000,000 円
☆利用者情報を記録する ICT 機器等の整備補助事業	—	375,000 円	375,000 円
合計	164,846,866 円	165,920,328 円	154,814,326 円

★・・・老健

☆・・・居宅サービスセンター

○ 施設基準等に係る適時調査

6 月 27 日（火）近畿厚生局兵庫事務所より当センターの施設基準等の届出についての適時調査が実施された。

【指摘事項】

○ 入院基本料等加算に関する事項

- ① 診療録管理体制加算・・・中央病歴管理室は、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した体制であることに留意すること。
- ② 病棟薬剤業務実施加算・・・医薬品情報管理室は、医薬品情報の収集及び伝達を行うための専用の施設であることに留意すること。

○ 特掲診療料に関する事項

- ① 薬剤管理指導料・・・医薬品情報管理室は、医薬品情報の収集及び伝達を行うための専用の施設であることに留意すること。
- ② 施設基準の届出全般に関する事項・・・施設基準の届出について、届出要件に充分留意し、届出の内容と異なった事情が生じた場合には、速やかに届出すること。

○ 兵庫医科大学ささやま医療センター開院 20 周年記念式典

10 月 14 日（土）、篠山市民センターにて「兵庫医科大学ささやま医療センター開院 20 周年記念式典」を執り行い、病院関係者や市民の方々など約 170 名の方に出席頂いた。

式典では新家理事長の祝辞をはじめ、片山病院長からは「子どもから高齢者まで、誰もが篠山で安心し、健康でいられる健康文化都市づくりや、地域医療で大切な家庭医、総合診療医の育成をささやま医療センターで進めていきたい」との挨拶があった。

《兵庫医療大学》

○ 補助金

◇ 平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業

文部科学省が実施する標記補助事業に対して、従来からの「タイプ 1：教育の質的転換」、「タイプ 2：地域発展」、「タイプ 3：産業界・他大学等との連携」への申請に加え、平成 29 年度より新たに設定された「タイプ 5：プラットフォーム形成」について、兵庫県下の大学等で構成する大学コンソーシアムひょうご神戸をベースとする『ひょうご産官学連携協議会』をプラットフォームとして申請を行い、全てのタイプについて選定された。

本補助事業の選定結果は下記のとおりであり、本事業に係る特別補助の増額合計は 71,400 千円となる。※調整前

【選定結果】

*タイプ 1：教育の質的転換

(得点) 85 点 ※選定基準 79 点以上

(補助額) 19,400 千円

*タイプ 2：地域発展

(得点) 46 点 ※選定基準 36 点以上

(補助額) 19,000 千円

*タイプ 3：産業界・他大学等との連携

(得点) 46 点 ※選定基準 38 点以上

(補助額) 18,000 千円

*タイプ 5：プラットフォーム形成

(得点) 共通設問 73 点 ※選定基準 56 点以上

個別設問 22 点

(補助額) 15,000 千円

◇ 平成 29 年度科学研究費獲得実績

(単位：千円)

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究 (B)		0	0	0	0
基盤研究 (C)		23	23,930	7,179	31,109
挑戦的萌芽研究		1	900	270	1,170
研究活動スタート支援		3	2,000	600	2,600
若手研究 (B)		13	11,300	3,390	14,690
計		40	38,130	11,439	49,569
(参考)	平成 28 年度合計	33	35,070	10,521	45,591
(参考)	平成 27 年度合計	35	41,900	12,570	54,470

○ 国家試験

第 103 回 薬剤師国家試験

区 分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	138	69	50.0	96	46	47.9
本学（平成 28 年度）	118	52	44.1	89	47	52.8
本学（平成 27 年度）	102	44	43.1	119	85	71.4
全 国	8,606	7,304	84.9	4,577	2,151	47.0

第 107 回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	89	89	100.0			
本学（平成 28 年度）	93	93	100.0	1	1	100.0
本学（平成 27 年度）	98	97	99.0	1	1	100.0
全 国	57,929	55,764	96.3	6,559	2,918	44.5

第 104 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	20	18	90.0			
本学（平成 28 年度）	29	29	100.0			
本学（平成 27 年度）	36	36	100.0	1	1	100.0
全 国	7,675	6,572	85.6	516	94	18.2

第 101 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	7	7	100.0			
本学（平成 28 年度）	8	8	100.0			
本学（平成 27 年度）	9	9	100.0			
全 国	2,087	2,074	99.4	143	127	88.8

第 53 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	42	42	100.0			
本学（平成 28 年度）	40	40	100.0			
本学（平成 27 年度）	41	40	97.6	1	1	100.0
全 国	11,033	9,679	87.7	1,115	206	18.5

第 53 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	43	41	95.3	1	0	0
本学（平成 28 年度）	51	51	100.0	2	1	50.0
本学（平成 27 年度）	47	46	97.9	4	3	75.0
全 国	5,289	4,506	85.2	875	279	31.9

○ 平成 30 年度各学部入学試験

平成 30 年度学生募集は、次のとおり実施した。

主な変更点は、多様な人材の確保を目的とした大学入試センター試験利用入学試験（面接併用型）の導入である。大学入試センター試験の成績（一次試験）と面接（二次試験）を併用し、学力試験による知識に加えて、表現力・思考力等を含めて判定を行う入試として実施した。なお、当該入試の導入に伴い、大学入試センター試験利用入学試験（中期日程）および（後期日程）は廃止した。

1) 推薦入学試験（専願公募制）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	20	20	10	12
出願者数	35	131	75	31
受験者数	35	131	74	31
合格者数	20	20	12	15
入学者数	20	20	12	15

2) 推薦入学試験（指定校推薦入学制度）

区分	薬学部
募集人員	5
出願者数	9
受験者数	9
合格者数	9
入学者数	9

3) 推薦入学試験（公募制 S 日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	7
出願者数	99	152
受験者数	99	152
合格者数	48	18
入学者数	14	9

4) 推薦入学試験（公募制 A 日程）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	12	10	4	4
出願者数	117	306	103	46
受験者数	112	304	102	46
合格者数	57	65	20	24
入学者数	17	33	13	12

5) 推薦入学試験（公募制 B 日程）

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	44
受験者数	44
合格者数	25
入学者数	20

6) 一般入学試験（前期A日程）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	35	35	14	12
出願者数	139	348	120	45
受験者数	134	344	120	45
合格者数	68	40	16	19
入学者数	14	8	10	13

7) 一般入学試験（前期B日程）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	25	17	8	8
出願者数	121	269	126	46
受験者数	115	265	125	46
合格者数	56	25	17	17
入学者数	17	8	7	7

8) 一般入学試験（前期C日程）

区分	薬学部
募集人員	15
出願者数	80
受験者数	78
合格者数	46
入学者数	28

9) 一般入学試験（後期日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	5
出願者数	37	78
受験者数	36	76
合格者数	32	30
入学者数	23	24

1 0) 大学入試センター試験利用入学試験（学力重視型）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	6	3	2	2
出願者数	32	39	30	17
受験者数	30	39	29	17
合格者数	17	17	9	8
入学者数	2	0	3	1

1 1) 大学入試センター試験利用入学試験（面接併用型）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	2	3	2	2
出願者数	3	28	13	1
受験者数	3	28	13	1
一次試験 通過者	2	16	10	1
合格者数	1	8	2	1
入学者数	1	2	2	1

1 2) 合計

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	150	100	40	40
出願者数	716	1351	467	186
受験者数	694	1339	462	186
合格者数	379	223	76	84
入学者数	165	104	47	49

○ 平成 30 年度大学院入学試験

平成 30 年度大学院入学試験を次のとおり実施した。

1. 入学試験 I 期（薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科	医療科学研究科
募集人員	3	8	8
出願者数	0	5	15
受験者数	0	5	14
合格者数	0	3	10
入学者数	0	2	10

2. 入学試験 II 期（薬学研究科、看護学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科
募集人員	若干名	若干名
出願者数	1	6
受験者数	1	6
合格者数	1	4
入学者数	1	4

○ 教育支援室の改組

教育支援室の機能強化のため、「IR」、「履修支援・国試対策支援」、「チーム医療教育支援」の3部門から、「IR」、「学習支援」、「チーム医療教育支援」、「FD・SD」の4部門に改組した。

「IR 部門」では、引き続き、データ収集、解析、評価等を行った。「学習支援部門」では、リメディアル教育を含めた初年次教育を中心に、各学部の実情に応じ学習支援員の募集と配置を行い、履修を支援した。「チーム医療教育支援部門」は、各職種からの助言や指導が行えるよう、各学部学科の専門資格を持つ教員を兼務教員として配置した。

「FD・SD 部門」については、大学設置基準改正による教職員への SD の義務化を踏まえ、従来から取り組んできた FD 及び SD 活動を統括して教職員の資質向上を図った。

○ 平成 29 年度兵庫医療大学中医薬実践講座（初級）

漢方薬への理解をより深めることを目的として、平成 29 年 5 月～11 月までの計 12 回、薬剤師を中心とする医療職者対象の「中医薬実践講座」を開講した。講義は、孫華麗特任講師（神戸中医学院長）が担当し、40 名が受講し、30 名に修了証を交付した。

○ 兵庫医療大学開学 10 周年記念事業について

平成 19 年の開学以来の 10 年間の歴史を振り返り、これから向かうべき大学の姿について関係者の意識を共有するため、ひとつの区切りとして、10 周年記念事業を実施した。

< 事業内容 >

- ・平成 29 年 9 月 30 日（土）に記念講演会・記念式典・祝賀会を開催
- ・HUHS vision 20 の策定・公開
- ・記念誌（アーカイブ）と大学イメージビデオの作成
- ・英文ホームページの作成
- ・開学 10 周年記念モニュメントの設置（同窓会寄贈）

○ 兵庫県と神戸ポートアイランド 4 大学との地域安全まちづくり活動の推進に関する協定書の締結について

兵庫県と神戸ポートアイランド 4 大学（神戸学院大学、神戸女子大学・神戸女子短期大学、兵庫医療大学、夙川学院短期大学）は、ポートアイランドにおける地域安全まちづくり活動の活性化に取り組むため、平成 29 年 12 月 20 日に協定を締結した。

○ 兵庫医療大学健康づくりサポーターバンク事業の活動について

益々高齢化が進んでいる神戸市内において、住民の健康増進、介護予防を図ることを目的に、神戸市内で健康づくり活動を行う個人を「兵庫医療大学健康づくりサポーター」として登録し、サポーター活動を本学が周知、支援する活動を開始した。

○ 大学公式WEBサイトリニューアル

大学公式 WEB サイトについて、2009 年から使用していた Web サイト更新システム（CMS）Joomla!の老朽化に伴うセキュリティリスクの増大およびスマートフォンからのアクセス増加に対応するため、2016 年 7 月よりリニューアルに向けた検討を開始し、2017 年 7 月 10 日に新サイトに移行した。

新 Web サイトでは、Web サイト更新システム（CMS）に Word Press を採用しセキュリティ面での対策を行った。

また、スマートフォンへの対応については、デバイスの表示幅にあわせ画像サイズを自動調整することのできるレスポンシブ Web デザインを採用することにより、さまざまなデバイスへ対応が可能となったことに併せ、スマートフォンサイトを作成する労力も削減することができた。

コンテンツの面においても、システムの更新にあわせ整理することでページ数を削減するとともに、受験生をターゲットとしたコンテンツを追加したことで Web サイトでの広報が強化された。

○ 広報コンセプトの作成

HUHS Vision20 において、「医科大学との協働と多職種との連携によって先進的な教育と研究に取り組む大学」を広報コンセプトとして定め、これを踏まえて、コンセプトメッセージを「人と地域の未来を紡ぐ」と決定し、併せてコミュニケーションマークを作成した。

Ⅲ 財務の概要

《概要》

1. 概要

平成 29 年度は、新病院棟建設に向けた学校法人全体の経営基盤安定のため、運営の改善及び効率化を図り、持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成とすることを基本方針とし、下記重点事項を掲げました。

- ① 各部門における収入確保施策の実行と徹底した経費見直しによる更なる支出削減
- ② 人件費を抑制するための各種施策の実施
- ③ 教育研究棟建設プロジェクト予算遵守のための徹底的なコストカットの実施

こうした中で、平成 37 年度竣工を目指し計画している新病院棟建設事業を遂行していくための第 2 年次目として、平成 29 年度は基本金組入前当年度収支差額 20 億円以上確保を目標にスタートしました。

「収入増」「経費削減」に重点を置き、各部門が鋭意取り組んだ結果、収入面では前年度実績を上回ることができましたが予算は未達となりました。支出面では教育研究棟関連の支出及び医療収入増加による医療経費の支出増で前年度実績を大きく上回ったものの予算対比では下回ることができ、基本金組入前当年度収支差額は 27.4 億円となり、予算比 5.3 億円のプラスとなりました。

※ 財務情報（消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、財産目録）については、ホームページの「情報の公表」の事業報告書・財務諸表の財務諸表をご参照ください。

http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement/

以上

平成 30 年 7 月 13

総務部 総務課